

# 中小企業の経営戦略を学び・考える

— 中小企業の復活・再生・活性化を目指して —

日本の企業の約99%が中小企業であり、労働人口の大半は中小企業に勤めている人達である。また、戦後の日本経済の高度成長を支え、また地域経済を支えてきたのも中小企業であると言っても過言でない。だが、中小企業の現状は、経済活動・企業活動のグローバル化と日本経済の長期停滞の中で中小企業の活動の場が少なく悪戦苦闘している。

しかし、「企業家精神と機動力に富む」中小企業の特徴を活かした活躍の場を見出さなければ、日本経済・地域経済の活力・活性化は取り戻せない。日本経済・地域経済の活力・活性化を取り戻すためには、今こそ中小企業の「復活・再生・活性化」に向けての中小企業の属性・特性を活かした「経営哲学・経営理念の確立」と「経営戦略の策定」が求められている。

本講座は、中小企業の経営者・経営管理者・従業員および多くの関係者からの強い要望に応じて「中小企業の経営戦略を学ぶ・考える — 中小企業の復活・再生・活性化を目指して —」を主要テーマに、日本経済および地域経済を支える中小企業の復活・再生・活性化に向けて、「中小企業の活力を出すための経営戦略」について、ベテランおよび新進気鋭の先生方に、各々の専門分野の立場から論じてもらうことにする。

## 第1回 ▶ 2011年10月4日(火)

演題：中小企業の**経営哲学と経営戦略**を  
学び・考える  
— 新時代に持続可能な経営哲学と経営戦略で —

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授  
藤永 弘

## 第4回 ▶ 2011年11月1日(火)

演題：中小企業の**経理戦略**を学び・考える  
— 中小会社の会計指針を中心に —

講師：青森公立大学准教授 金子 輝雄

## 第2回 ▶ 2011年10月11日(火)

演題：中小企業の**資金調達**を学び・考える  
— 損益・収支状況の改善による内部金融の  
充実と外部金融の可能性 —

講師：青森公立大学教授 落合 孝彦

## 第5回 ▶ 2011年11月15日(火)

演題：中小企業の**事業継承戦略**を学び・考える  
— 新しい時代の事業継承の在り方を  
中心に学ぶ —

講師：行政書士法人アースフィールド代表社員・  
行政書士 藤永誠一郎

## 第3回 ▶ 2011年10月18日(火)

演題：中小企業の**管理会計戦略**を学び・考える  
— キャッシュフロー経営を中心に —

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授  
藤永 弘

## 第6回 ▶ 2011年11月22日(火)

演題：中小企業の**海外進出戦略**を学び・考える  
— 中国の巨大市場への進出に向けて —

講師：株式会社アサブ合同事務所代表取締役  
香港 JOIN PEAK DEVELOPMENT LIMITED  
Director 行政書士 日影 恒次

## 受講料 ▶ 無料

いずれの回も

時間：18時30分～20時30分

場所：アウガ5階  
青森市男女共同参画プラザ研修室

対象：一般の方 定員：50名程度

## 第7回 ▶ 2011年11月29日(火)

演題：中小企業の**ロシア市場進出戦略**を  
学び・考える

— 勝てる商品群と一緒に進もう —  
講師：青森公立大学教授 丹野 大

### 申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。  
郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4 青森公立大学地域研究センター公開講座係  
FAX送信先：017-764-1564  
E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

主催 ▶ 青森公立大学

電話 ▶ 017-764-1561 URL ▶ <http://www.nebuta.ac.jp/>



この講座は、あおもり県民カレッジ単位認定講座各2単位(計7回)

# 中小企業の 経営戦略を 学び・考える

中小企業の復活・再生・  
活性化を目指して

## 第1回 ▶ 2011年10月4日(火)

演題：中小企業の経営哲学と経営戦略を  
学び・考える

－新時代に持続可能な経営哲学と経営戦略で－

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授

藤永 弘

現代社会は、グローバル化の波に乗れない経済・産業、国家・地方財政赤字の増大、少子高齢化・人口減少など多くの課題が山積している。さらに東日本大震災・福島原発事故により日本経済は厳しい状況に置かれている。このような経済状況の中で中小企業はいかなる「経営哲学」を持ち、いかに対処すべきか、どのように立ち向かうべきか中小企業の「経営戦略」について学び・考える。

## 第2回 ▶ 2011年10月11日(火)

演題：中小企業の資金調達を学び・考える

－損益・収支状況の改善による内部金融の  
充実と外部金融の可能性－

講師：青森公立大学教授 落合 孝彦

本講座では、中小企業の財務データ観察を通して、「資金調達力を高める財務実践とは何か」について考えることに主眼を置く。増益の達成こそが営利企業最大の関心事ではあるものの、資金余裕度の向上を念頭に置く場合、損益だけでなく収支についても注意を払う必要がある。経常的な資金収支の改善をはかることが、「資金調達力」全般を高める上での効果的な方法であることを学び・考える。

## 第3回 ▶ 2011年10月18日(火)

演題：中小企業の管理会計戦略を学び・考える

－キャッシュフロー経営を中心に－

講師：青森公立大学教授・札幌学院大学名誉教授

藤永 弘

現在多くの中小企業は、「資金繰り表」等を用いて資金管理を行っている。この方法は資金収支の均衡を図ることが目的で、資金の効率的な運用状況や資金の創出能力に関する情報は得られない。「キャッシュフロー計算書」を用いることにより企業活動に必要な「運転資金」や「設備資金」の管理が可能となる。経営者の経営戦略の策定に重要な情報を得ることが出来る「キャッシュフロー経営」について学び・考える。

## 第4回 ▶ 2011年11月1日(火)

演題：中小企業の経理戦略を学び・考える

－中小会社の会計指針を中心に－

講師：青森公立大学准教授 金子 輝雄

グローバル化時代に入り、会計の国際化が急速な勢いで進んでいる。これは国際的に経営活動を行う公開企業（上場企業）を前提としたものである。同時に、中小企業の特性・属性を反映した会計基準として「中小会社の会計指針」が公表されている。この中小企業の会計基準の特性・内容を踏まえながら、厳しい経営環境の中でのこれからの「中小企業の経理戦略」について学び・考える。

## 第5回 ▶ 2011年11月15日(火)

演題：中小企業の事業継承戦略を学び・考える

－新しい時代の事業継承の在り方を  
中心に学ぶ－

講師：行政書士法人アースフィールド代表社員・

行政書士 藤永誠一郎

中小企業を取り巻く経済環境が厳しい時代を迎えて、中小企業の持続的維持・存続のための事業継承の問題が緊急の課題となっている。特に、中小企業が有する固有の属性・特性から創出・蓄積した「技術力」、「営業力」、「信用力」等の知的財産を含めた「事業継承戦略」、「事業継承方法・手続き」を学び・考える。

## 第6回 ▶ 2011年11月22日(火)

演題：中小企業の海外進出戦略を学び・考える

－中国の巨大市場への進出に向けて－

講師：株式会社アサブ合同事務所代表取締役

香港 JOIN PEAK DEVELOPMENT LIMITED

Director

行政書士 日影 恒次

現代社会は、「人・物・金・情報」が国境を越えて自由に移動するグローバル化時代である。中小企業の生存領域・発展領域は、国内のみならず海外に見出すことが出来る。よって、中小企業の「海外進出・海外展開・海外取引」について、「世界の工場」であると共に「世界の巨大マーケット」でもある中国を中心に学び・考える。

## 第7回 ▶ 2011年11月29日(火)

演題：中小企業のロシア市場進出戦略を  
学び・考える

－勝てる商品群と一緒に進もう－

講師：青森公立大学教授 丹野 大

いま、ロシアでは空前の「日本食ブーム」である。そこで「ロシア市場（モスクワ/ハバロフスク）」へ青森県産食品群（青森リンゴやスタミナ源たれ等）を輸出してみた。とりわけ2006年からのこの6年間に行った輸出事業を通じて、「勝てる商品群」が判明してきた。それらの発見から「中小企業のロシア市場進出戦略」を学び・考える。



# 人間の探求 —心理学と仏教から—

私たちには、人生がとても複雑であるかのように感じられることがあります。それは、私たち人間が自分自身についてよく知らないからなのかもしれません。そこで本講座では、心理学と仏教という異なる2つの視点から、「人間」という存在を探求してみたいと思います。

心理学は、人の心について学ぶ学問です。本講座の前半では記憶や思考などに関する心理学研究の成果を紹介しながら、人間の心の不思議さについて考えていこうと思います。また、仏教は私たちの人生を照らしてくれる思想の一つです。本講座の後半では、ブッダや親鸞の教えについて学び、仏教の思想から自分自身の人生について問い直してみましよう。

これらの視点を得ることで豊かな教養が身につくことを期待しています。

**第1回** 2011年  
10月17日(月)

講師：青森公立大学 准教授 鈴木 郁生  
演題：「記憶と心」

**第2回** 2011年  
10月25日(火)

講師：東北大学加齢医学研究所附属  
スマート・エイジング国際共同研究センター  
助教 荒木 剛  
演題：「雑念と妄想の心理学」

**第3回** 2011年  
10月31日(月)

講師：龍谷大学文学部 教授 藤 能成  
演題：「川の如く、風の如く、空の如く、大地の如く  
—親鸞の「自ずからなる」他力の生き方—」

**第4回** 2011年  
11月8日(火)

講師：青森公立大学 教授 羽矢 辰夫  
演題：「さわやかな生き方」

いずれの回も

時間 18時30分～20時15分

場所 アウガ5階

青森市男女共同参画プラザ研修室

対象 一般の方

定員 50名程度

受講料 無料

※あおもり県民カレッジ単位認定講座 各2単位 (計4回)

## 申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4  
青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先：017-764-1564

E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

# 人間の探求

## —心理学と仏教から—

第1回

講師

青森公立大学  
准教授 **鈴木 郁生**

2011年  
10月17日(月)

### 記憶と心

本講座では、心理学の視点から、人生を形作る「記憶」について考えてみたいと思います。記憶は私たちにとって身近なものですが、なかなか自分の思うようには働いてくれないものです。この講座で記憶の不思議に迫ってみたいと思います。また、心には意識できる部分と意識できない部分があります。自分では気づけない心の働きについて学び、私たちが「自分のことは自分が一番知っている」と言えるのか問い直してみましょ。

第2回

講師

東北大学加齢医学研究所附属  
スマート・エイジング国際共同研究センター  
助教 **荒木 剛**

2011年  
10月25日(火)

### 雑念と妄想の心理学

嫌な考えや妙な想いが突然心の中に浮かんで来て、困ったことはないでしょうか。必死になって抑え込もうとしても、気がつくともた同じことを考えてしまっている。この現象の背景を探っていくと、人間が進化の中で獲得してきた「心」というシステムの精巧な働きが見えてきます。この講座では、“自分の心のはずなのに思い通りにならない”現象に関する研究の紹介を通して、人間が持つ「心」の仕組みの不思議さに迫ってみたいと思います。

第3回

講師

龍谷大学文学部  
教授 **藤 能成**

2011年  
10月31日(月)

### 川の如く、風の如く、空の如く、大地の如く -親鸞の「自ずからなる」他力の生き方-

現代人は、知性と理性を基に、言葉によって頭で考えて理解することに慣れていますが、しかし一方でそれは「私」と人・世界・自然・宇宙との繋がりを断ち切ってしまう、孤独・不安・虚無感・死への恐れを生んでいます。浄土真宗の開祖・親鸞は、知性と理性に基づく生き方を自力（疑い・不安）だと退け、念仏と信心によって感性を開き、目に見えない仏智の働きにまかせていく「自ずからなる」、他力（信頼・安心）の生き方を示しました。

第4回

講師

青森公立大学  
教授 **羽矢 辰夫**

2011年  
11月8日(火)

### さわやかな生き方

わたしたちは善く生きたいと思いながら、なかなか思うような善い人生を歩むことができません。さわやかに生きたいと願いながら、よどんだ生き方しかできません。それはなぜなのでしょう。仏教の開祖であるゴータマ・ブッダおよび大乘仏教の二大学派の一つである唯識（ゆいしき）の思想を学んで、その謎を探求してみましょ。さらに、解決策についても、実践（瞑想）を通してその可能性の一端を追求してみましょ。

2011年度

青森公立大学公開講座

# 青森公立大学公開講座

2011年度

2011年度の大学院公開セミナーは、「長期不況下の地域経済の課題」を共通テーマとして開催します。長期不況、高齢化、さらには3月の大震災の影響など、いま地域の経済が直面している厳しい現状をどのように把握するのか、地域経済の活動のさまざまな側面に注目して、その実態をデータによって実証的にとらえます。

本学大学院と学外の専門家からなる6名の講師陣が、青森県経済のみならず、他の地域の動向にも目を配りながら、それぞれのテーマについてどのように地域の課題に取り組むべきかを模索します。

## 大学院公開セミナー 「長期不況下の地域経済の課題」

### 第1回

2011年10月21日 (金)

講師：青森公立大学 教授 木立 力  
演題：「少子化の要因と青森県の少子化の動向」

### 第2回

2011年11月11日 (金)

講師：青森公立大学 教授 河野 秀孝  
演題：「市場経済下の農業 - 更なる繁栄に向けて」

### 第3回

2011年11月18日 (金)

講師：野村総合研究所 主席研究員 和田 哲郎  
演題：「震災で再認識、日本経済の矛盾」

### 第4回

2011年11月25日 (金)

講師：琉球大学法文学部 准教授 岩橋 培樹  
演題：「地域資源を活用した地方都市の活性化」

### 第5回

2011年12月6日 (火)

講師：青森公立大学 准教授 國方 明  
演題：「地域金融システムの危機：東日本大震災を中心に」

### 第6回

2011年12月13日 (火)

講師：青森公立大学 准教授 猪原 龍介  
演題：「新幹線時代をむかえての地域経済のあり方」

#### 申込方法

開催日前日(必着)までに受講を希望する演題名、開催日と住所、氏名(ふりがな)、性別、年齢、連絡先の電話番号を記入し、郵便、FAXまたはE-mailでお申込みください。

郵便送付先：〒030-0196 青森市大字合子沢字山崎153番地4  
青森公立大学地域研究センター公開講座係

FAX送信先：017-764-1564

E-mailアドレス：kouza@bb.nebuta.ac.jp

#### いずれの回も

時間 18時30分～20時

場所 アウガ5階  
青森市男女共同参画プラザ研修室

対象 一般の方

定員 50名程度

受講料 無料

※あおもり県民カレッジ単位認定講座 各2単位(計6回)

主催 ▶ 青森公立大学 ☎ 017-764-1561

URL <http://www.nebuta.ac.jp/>



# 2011年度 大学院公開セミナー

## 「長期不況下の地域経済の課題」

第1回

講師 青森公立大学 教授  
木立 力

### 少子化の要因と青森県の少子化の動向

青森県の合計特殊出生率は1970年代には全国平均を大幅に上回っていましたが、その後は2000年代に日本全体での少子化が下げ止まって以降も、青森県の出生率は低下を続け、今ではワースト10まで低下しています。少子化の要因の研究成果を紹介し、低下が著しい青森県の出生率と青森県経済の特徴についてデータに基づいて解説します。

2011年  
10月21日(金)

第2回

講師 青森公立大学 教授  
河野 秀孝

### 市場経済下の農業-更なる繁栄に向けて

現在の日本では農業就労者が高齢化し、後継者が減少し、各地で深刻な問題が生じている。また、これまでの価格維持や補助金等は昨今の財政状況から削減される傾向がある。資源の有効利用の観点から、生産性を向上させ、海外での経営も視野に、農業部門は市場の動向を見据えた自立経営を模索する必要性が求められている。

2011年  
11月11日(金)

第3回

講師 野村総合研究所 主席研究員  
和田 哲郎

### 震災で再認識、日本経済の矛盾

震災は日本に大きな痛手をもたらした。これに対して、復興に向け当事者の懸命の努力が続けられているが、必ずしも十分な成果を上げているわけではない。

そこには、予てからの行政・経済システムが存在する。このままでは、地方経済も疲弊する。地域に根差した、個々の活力が結実するシステム構築が必要である。

2011年  
11月18日(金)

第4回

講師 琉球大学法文学部 准教授  
岩橋 培樹

### 地域資源を活用した地方都市の活性化

産業の集積に強みをもつ大都市とは異なり、地方都市では地域の特性や文化を活かしたまちづくりが必要となる。そこでは、地域特有の希少資源を最大限に利用することで経済振興や観光振興を実現することが求められる。「アートの島・直島」、「尾道・囲碁のまちづくり構想」等の試みを紹介しながら、地域資源を活用したまちづくりの実践を考える。

2011年  
11月25日(金)

第5回

講師 青森公立大学 准教授  
國方 明

### 地域金融システムの危機:東日本大震災を中心に

3月11日に発生した東日本大震災は、内閣府の推計によるとストック(建築物など)の被害額だけで16.9兆円にのぼるなど、地域経済へ多大な影響を与えています。

今回は、経済の血液にもたとえられる金融に着目し、地域金融システムの役割や、東日本大震災の地域金融システムへの影響を、データに基づいて説明します。

2011年  
12月6日(火)

第6回

講師 青森公立大学 准教授  
猪原 龍介

### 新幹線時代をむかえての地域経済のあり方

東北新幹線新青森駅の開業に伴い、観光客の増加や取引機会の拡大が期待される一方で、ストローク効果などのマイナスの影響も懸念される。輸送技術の進展やグローバル化など、刻々と変化する経済環境の中で、青森県経済は今後どのように対処すべきなのか。集積の経済と地域資源をキーワードに、青森県の自律的発展のあり方を探る。

2011年  
12月13日(火)